

コロナ禍での貿易問題から対立構造について考える中学校における世界の諸課題の学習

- 1 校種・教科・科目（分野） 中学校・社会科・公民的分野
- 2 単元名 これからの世界と日本
- 3 学習指導要領上の位置付け D（2）私たちと国際社会の諸課題
- 4 カリキュラムマップとの関連性 多様性の尊重 平和で安全な社会

5 単元目標

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
世界の諸課題について知ることができる。	世界の諸課題について多面的・多角的に分析し、その下人や解決策について表現することができる。	世界の諸課題について世界規模で考え、自分たちでもできることを生活の中から見つけることができる。

6 単元の特徴（教材観）

本単元は、世界の諸課題について知り、その課題の原因である対立構造を知ることができる。その課題を見ていく中で、日本とこれからの日本人が持続可能な開発をしていくためにどのようなことができるかを考えることができる意義ある単元である。

本学級の生徒は、前時までにはコロナ禍に起こったマスクの問題とワクチンの先進国の偏りという貿易の面から世界の諸課題について考えている。その中で、正義については、国家として当然である国民の安全保障という面の閉じられた正義と世界全体の人権を守るという開かれた正義について気づきつつある生徒がいる。幸福については、国民としての幸福と世界全体の幸福度の上昇について天秤のような関係になると考えている生徒がいる。

本時は、初めに日本をはじめとする先進国によるワクチンの買い占めについて各班の公正、自国内での対立と他国との対立、持続可能性、正義と幸福についての考えが書かれたシートを見て、ムーブノート内でコメントをし合う。その後、前時の中国の行動と日本の行動を比べることで、二つのケースの分析結果が似ていることに気付かせる。その後、なぜ、そうなるかを聞くことで、開かれた正義と閉じられた正義を明確化させ、幸福について考えさせていく。話し合いを通して、閉じられた正義に基づく国家と開かれた正義に基づく行動をとることができる国民との違いに気づき、世界全体が幸福になるためにできることの違いについて考え、これからの世界で必要とされるシティズンシップについて考えさせたい。

7 カリキュラム・マネジメント

今回の授業においては、正義と幸福の要素を取り入れた。正義については、中学校道徳科の価値項目「C 主として集団や社会とのかかわりに関すること」の中の「11 正義と公正さを重んじ、誰に対しても、差別や偏見のない社会の実現に努めること」と関連させ

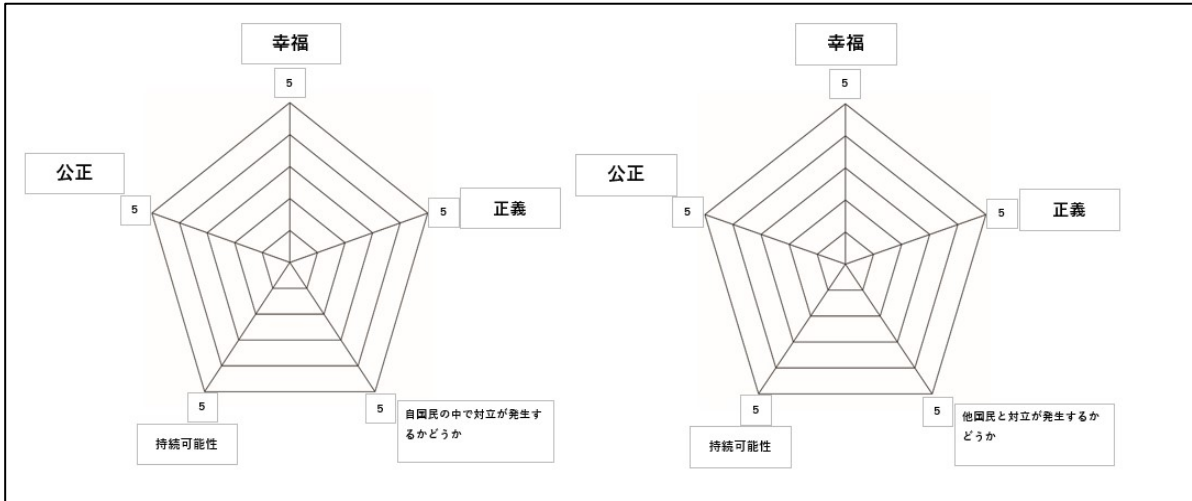
る授業を行った。中学校段階の道徳が目指すものとして、「自分も社会全体も幸福になれる開かれた正義」と「自分たちの行為によって他人が不幸になる閉じられた正義」について生徒同士で語るができるようになることを目指す。そのため、生徒たちは、普段の道徳の中で、見方を変えると“公正”が変わるという経験をしている。そのため、今回の研究に関連させる倫理分野と関連させることができると考えて授業で取り入れた。

8 単元計画

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価
1	・世界の格差問題について知り、地図上で世界の南北で富の偏在の現状について知る。	知識 技能		・世界の格差問題について南北問題について世界地図から富の偏在を見出すことができる。(発言・振り返り)
2	・国際分業とグローバル化による貿易問題について知る。	知識 技能		・世界の貿易問題について知ることができる。(発言・振り返り)
3 4	マスク問題を引き起こした中国の対応は正義なのか考えよう。	思考 判断 表現	○	・マスク価格の変動と中国からの輸入量の変化のグラフから中国の貿易について対する行動について正義と幸福の概念を使って分析することができる。 (発言・ワークシート・コメント)
5 6	コロナのワクチンを1回も打てていない国があるのに、自分で作っていない日本が3回目を打てるだけのワクチンを確保しているのは正義なのか考えよう。	思考 判断 表現	○	・ワクチンを製造できていない国が世界全体のワクチンを買占めている現状と国民の80%が摂取している受益者である自分たちの行動を正義と幸福の概念を使って分析することができる。(発言・ワークシート・コメント)
7	コロナ禍など世界がアクシデントに見舞われたときに世界全体が幸福になっていくためにはどのようなことが必要なんだろう。	思考 判断 表現 学び	○	・中国の行動と日本の行動を比べることで、二つのケースの分析結果が似ていることに気づき、開かれた正義と閉じられた正義を明確化させ、幸福について考えさせていく。話し合いを通して、閉じられた正義に基づく国家と開かれた正義に基づく行動をとることができる国民との違いに気づき、世界全体が幸福になるためにできることの違いについて考え、危機の時に世界で必要とされるシティズンシップについて考えることができる。

9 実施概要

本単元を通じて生徒たちが使用したレーダーチャート



3・4時で生徒に提示した資料

モーニングショー

中国で続く日本メーカー製マスクの輸出ストップ！ 工場を警官が見張り接収

2020年03月04日 14時06分

業務改善は協力戦 全員で業務を... - SHIMIZU

コメントを成す

完成不要なのでコロナ禍でも安心！ 業務改善1位のサービスとは？

新型コロナウイルスによるマスク不足の原因の一つは、中国で製造した日本メーカーの製品が輸入できなくなっていることだ。マスク販売会社「ファーストレイト」の長谷川友彦社長が中国の工場で撮影した映像には、マスクが山積みになっているが、1月25日（2020年）以降、出荷制限がかけられ、「残念ながら出荷できないのが現状です」という。

中国政府はマスクに貿易規制措置は講じていないとしているが、工場前には「弊社が生産するマスクは国家応急備蓄物資に指定されるため、輸出をお断りしております」と書かれた赤い看板が置かれている。周辺には見張る警察官の姿もある。「わが社の（中国の）工場の社長が、（輸出をしようとして）逮捕一歩手前だったということもありました」と長谷川社長は明かした。

別のマスク輸入会社も、中国で生産した分はすべて接収されたという。

国産分も材料は中国から輸入

日本で出回っているマスクの約8割は中国などからの輸入だ。残り2割の国内生産分についても、原材料の不織布、ゴムひも、鼻部分のワイヤーはほとんど中国からの輸入に頼っている。

申し入れを

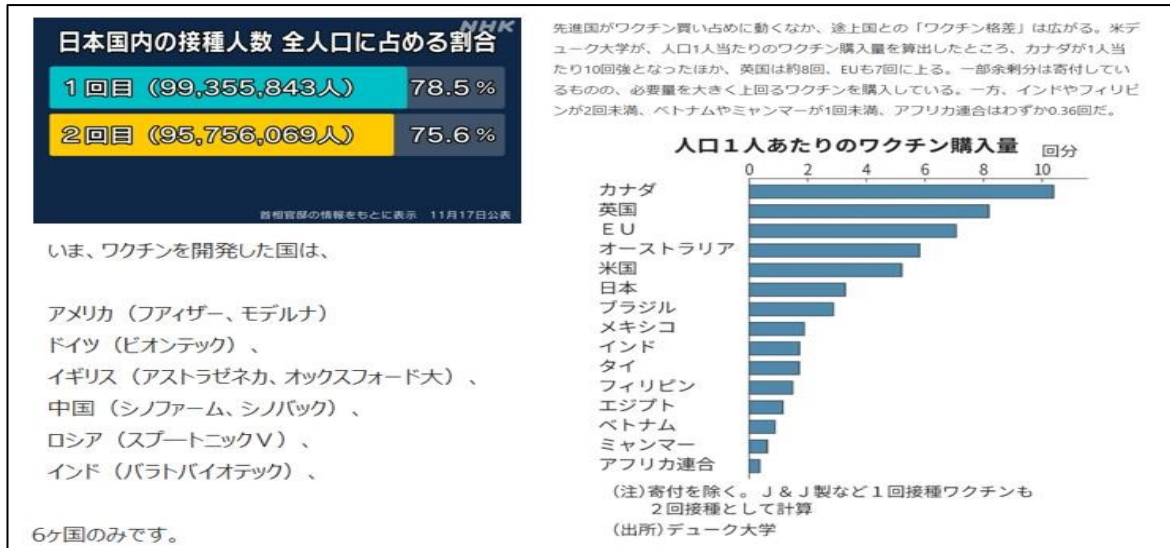
不織布マスク等繊維製品
(スーツカバー、紙糸製織物のごなど含む)

Exp or Imp/Year	HS	Country 国名	1月 輸入量	1月 輸入額	2月 輸入量	2月 輸入額	3月 輸入量	3月 輸入額
2	2020 630790029	103 大韓民国	94748	320972	96491	366482	112601	393918
2	2020 630790029	105 中華人民共和国	13393499	11797178	3439543	3102933	7001627	12901823

中国からの不織布マスク等繊維製品輸入量及び輸入額
1～4月

月	輸入量 (トン)	輸入額 (億円)
1月	13393	117
2月	3439	31
3月	7001	129
4月	23906	1044

第5時・第6時で提示した資料



第7時の過程

	学習活動・予想される反応	・教師の支援 ○評価 ◇問いを立たせる 発問
つ か む 15 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">○他の班のシートを見て、コメントをし合おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・他国との対立で、ワクチンを製造して販売している国は、その分の代金をもらっているはずだから対立は少ないと思う。 ・他国との対立について、アフリカの人たちは日本のことをうらやましいと思っていると思う。 ・公正については、きちんと手続きをして代金を払っているのだから公正だと思う。しかし、正義かというそれは自分の国の国民だけだから正義とは言えないと思う。 ・持続可能性の面で、ワクチンを買占めている日本はもっとはやく自分たちで作ることができるようにしないと売ってくれなくなってしまいかもかもしれない。 ・△△さんと話をしている、この班の持続可能性が低いことが気になった。 	<p>【学び合い学びを深めるために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の思考を見える化するためにムーブノートのコメント機能を使用する。 ・生徒がいろいろな班の意見と自分たちの意見を比べるためにホワイトボードシートを教室の各箇所に貼って自由に見ることができるようになる。 ・自由に見て、クラスメイトと話し合いができるようにするために、机の隊形をホワイトボードシートに対して正面にするようにする。 ・ムーブノートのコメントをする活動を通して生徒の思考を深めるために、以下の語形を用意する。 <p>○○について△△という意見を見て、××だと思った。</p> <p>○○については自分たちと似ているからよくわかった。だけど、××については、◇◇だと思う。</p> <p>△△さんと話をしている××についてもっと知りたいと思った。</p>
深	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">○なぜ、ケース1とケース2のグラフは似てしまうのか考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・国として国民の幸福度を高める行動を 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国のケースと日本のケースが国民の安

め る 25 分	<p>することは当然だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他国との対立より、自国内で対立が起きた方が国としては困ると思う。 ・自国優先になると他国との対立が過激化する可能性もある。 ・他国との対立が強くなりすぎると第2次世界大戦みたいになってしまう結局国民が困る。 	<p>全保障という面で似ていることに気付かせるために最も拍手が多かった班の2つのシートを並べて掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉じられた正義に基づく国家と開かれた正義の行動をとることが出来る国民に焦点を当てるために、以下のような発言を中心に上げる。 <p>「国家としてはしょうがない」</p> <p>「日本も同じようなことをやるかもしれない」</p> <p>「このまま対立が続くと世界はどうなってしまうだろう」</p>
<p>◎これから世界全体が幸福になるために大切なことを国家と国民に分けて考えよう。</p>		
	<p>【国家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの国民が困らないように考えるのは国家としては正しい。 ・他国との対立が戦争にまで発展しないように外交や貿易の交渉で戦争は回避していくことが必要。 ・自国民の幸福を最大化するような政治家が国民からは支持されるはず。 <p>【国民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが世界の課題を知って行動することが大切 ・自分たちが選んだ政治家が自国民の幸福だけでなく他国民の幸福まで考える政治家を選んでいくことが必要 ・世界全体の幸福が最大化するために、自分たちが解決していくための行動をしていくことが大切だと思う。 	<p>【生徒の心に問いを立たせる発問】</p> <p>閉じられた正義に基づく行動ができない国家についての発言が増えてきた場合、開かれた正義に基づく行動ができる国民に視点を変えるために以下の発問をする。</p> <p>「国民も国家と同じ行動しかとれないのだろうか」</p> <p>「世界全体の幸福は国家の行動でしか高めることが出来ないのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠のない理想論に集中してきた場合は、「なぜそれができないのだろうか」と問い返すことで、自分たちのことが一番大切だと考える弱い国民の面を考えさせる。 ・理想論が出てきた場合は自分たちができそうな具体的なことを考えるために、「自分たちが出来そうなことはないのかな」と問い返す。 <p>○二つのグラフを似ていることに気づき、その原因について考えることができたか。(発言)</p>
ま	今日の授業で考えたことについて発表しよ	今日の授業による変容が分かるようにす

と め る 10 分	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家の正義を追求していくと、世界全体の幸福が減少することがあることが分かった。 ・マスクの時は確かに困ったし、他の国のことなんてわからなかったけど今後はそういう時に世界全体について考えることが大切。 ・世界中が協力して貿易していくことが大切 	<p>るためにムーブノートのスタンプ機能を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想を見るために、ムーブノートの広場の機能を使用する。 ・世界全体の幸福を考えた生徒の意見の意図を理解するためにグループ全体で共有する。 <p>○世界が危機の時に求められるシティズンシップについて考えることができたか。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
------------------------	---	--

10 評価と生徒の実態

10-1 評価

- ・中国の行動と日本の行動の二つのグラフが似ていることに気付き、その原因について開かれた正義と閉じられた正義を意識して考えることができたか。 (思考・判断・表現)
- ・世界が危機の時に求められるシティズンシップについて国家と国民について分けて世界の幸福を高める方法について考えることができたか。

(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)

10-2 生徒が作成したホワイトボードシートと授業中に行われた書き込み

1組6班

【自国】
 幸福(3)... 国民を守るためのワクチン(4) ← 実数(4, 2, 2, 1, 1, 1)
 公正(2)... 作ってあげたワクチン, 76から
 持続(4)... ワクチンあるし, 実際感染者の数が減ったから
 対立(1)... 起きていないから
 正義(1)... 他国と差がある → 罪悪感

【他国】
 幸福(1)... ワクチン(4) → 打てない
 公正(3)... 作ってあげたワクチン, 76からワクチンがまだ少ない
 持続(1)... ワクチン(4)
 対立(4)... 打つたのにまだ死(774)と感染(774)の状況
 正義(3)... ワクチンがないので、ワクチンには、ない

* 対立の問題はあり
 ↳ 正義は同じで、国同士でどうにかして平等にする
 ↳ 国の強さを取らなくていい
 ↳ "強い" → "弱い" のどちらの状態と作る
 ↳ 国の強さ

はくしゅ 20人が拍手しています。

12件のコメントがあります

さん

自国の正義が自分たちは自国を守っていることで正義感が強いと考えたけど、この班は他国と差があり罪悪感があると考えていて、自分の班では出てこなかった考えなので面白いなと思いました

はくしゅ 20人が拍手しています。

12件のコメントがあります

、幸福度が低いことに賛成です。

さん

自分達の班では日本国民を守っているから正義が高かったけど、この班は他国と差があるから罪悪感を感じ正義が低いと考えていてそういう考えもあるんだなと思いました。けれど、幸福度はワクチンが打てるから正義より高くなっているのに罪悪感を感じているのは何でなのか知りたいです！

はくしゅ 20人が拍手しています。

12件のコメントがあります

9!

さん

全部事実ではあるけど、他国の公正のところ、作っていないから買わないのが公正なのか？と思いました(それが間違ってるとは思わないですが)。公正ってそういうことじゃなくて先進国がワクチンを買えない他国に分けたり買ったりすることなんじゃないかなと思います 難しいけど

18歳市民力の育成に向けて、世界の諸課題の単元においては、中学校3年生という発達段階では「協調しなければならない」ことは理解している生徒が多い。そのため、「なぜ、それができないのか」をキーワードにして、自国民や自分たちの利益を最大化させてしまう人間の弱さや国家の行動の特性に着目させる。そうすることで、世界の諸課題について理想と現実の対立構造が構築できる。この対立構造について社会の見方・考え方を使得って個人で考えた後に、クラスメイトと考え合うことで、多様な価値観に触れ、答えのない課題について話し合いを通じて洗練された自分なりの答えをもつことができ、それが18歳市民力の育成につながると考えられる。

今回の実践を通して、持続可能な世界にしていくために政治家の役割の重要性に着目する生徒もいた。中学校社会科の総まとめとしてこの単元を扱うことができる。さらに、世界の諸課題を分析する上で、国家や国民の行動、社会のあり方について、それが誰にとって「正しい、正しくない」や、それが「誰が幸せになるのか」を考える中で、生徒たちの意見が衝突することがあった。世界の諸課題の単元だけでなく、新しい人権などの単元など、「正義」と「幸福」に関わってくる社会現象での衝突と議論を生徒たちが積み上げていくことは特定の単元が設定されていない倫理分野の役割であると考えられる。また、特別な教科「道徳」では、中学校段階は「人間の弱さ」に注目させることが求められている。

中学校公民では、道徳と関連させながら、人間の弱さに着目し高校分野の「正義」「幸福」を使得って議論していく機会を増やしていくことが大切ではないでしょうか。

金原 洋輔（愛知県みよし市立南中学校）